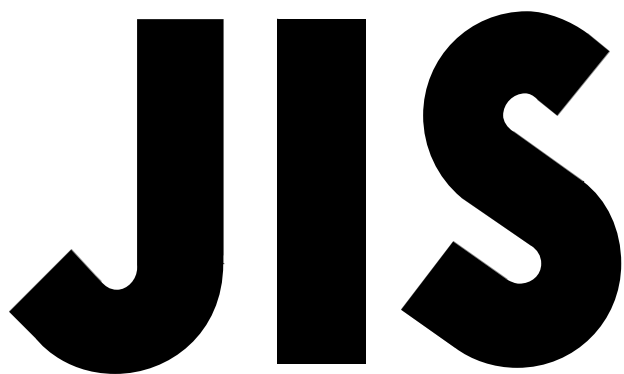




DVD-再生専用ディスクのボリューム構造 及びファイル構造

JIS X 0610 : 2006

(OITDA)

平成 18 年 3 月 25 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 章	財団法人日本規格協会
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	小 川 義 久	財団法人日本情報処理開発協会
	寛 捷 彦	早稲田大学
	河 内 浩 明	社団法人電子情報技術産業協会
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニック コミュニケーションズ株式会社
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	田 中 謙 治	総務省
	中井川 禎 彦	総務省
	中 村 泉 之	日本銀行
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 論	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.3.25

官 報 公 示：平成 18.3.27

原 案 作 成 者：財団法人光産業技術振興協会

(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル TEL 03-5225-6431)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人光産業技術振興協会(OITDA)から DVD フォーラムの DVD Specifications for Read-Only Disc—Part 2: FILE SYSTEM SPECIFICATIONS を基に作成した工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS X 0610 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) DVD-Video ディスク及び DVD-Audio ディスクの要件

附属書 B (参考) ボリューム及びファイル構造の読出し方法

附属書 C (参考) 起動レコードをもつブリッジボリューム認識列

附属書 1 (参考) 参考文献

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 一般.....	1
1.1 適用範囲.....	1
1.2 引用規格.....	1
1.3 定義.....	2
1.4 記法.....	4
1.5 記述子欄のデータ種別.....	4
1.6 記述子の記録.....	6
2. ボリューム構造.....	6
2.1 DVD-再生専用ディスクの要件.....	6
2.2 ボリューム空間.....	7
2.3 ブリッジフォーマットのボリューム構造.....	8
2.4 ブリッジボリューム認識列.....	10
2.5 開始点.....	11
2.6 ボリューム記述子列.....	12
2.7 論理ボリューム保全列.....	19
2.8 CD-ROM ボリューム記述子集合.....	21
3. ファイル構造.....	25
3.1 DVD-再生専用ディスクの要件.....	25
3.2 JIS X 0609 のファイル構造.....	26
3.3 JIS X 0609 のファイル集合記述子列.....	29
3.4 JIS X 0609 のディレクトリ.....	31
3.5 ICB.....	32
3.6 拡張属性.....	38
3.7 JIS X 0606 のディレクトリ構造及びパステーブル.....	41
附属書 A (規定) DVD-Video ディスク及び DVD-Audio ディスクの要件.....	47
附属書 B (参考) ボリューム及びファイル構造の読出し方法.....	57
附属書 C (参考) 起動レコードをもつブリッジボリューム認識列.....	58
附属書 1 (参考) 参考文献.....	59
解 説.....	60

DVD-再生専用ディスクのボリューム構造 及びファイル構造

Volume and file structure of DVD read-only Disc

序文 この規格は、1996 年に DVD フォーラムから発行され、2001 年 8 月までに Supplement として改訂された DVD Specifications for Read-Only Disc—Part 2: FILE SYSTEM SPECIFICATIONS を基に作成した日本工業規格である。

1. 一般

1.1 適用範囲 この規格は、DVD-再生専用ディスク用のボリューム構造及びファイル構造として、ブリッジフォーマットを規定する。この規定によって、DVD 専用プレーヤ及びコンピュータシステム利用者の間の DVD-再生専用ディスクによる情報交換が可能になる。このブリッジフォーマットは、**JIS X 0609** 及び **JIS X 0606 (ISO 9660)** に従う。

JIS X 0609 は、**JIS X 0607 (ISO/IEC 13346)** の規定の部分集合を定義することによって、データ交換を最大限に行い、**JIS X 0607** を実装するための費用及び複雑性を最小限に抑える。この規格 **JIS X 0610** は、これを DVD-再生専用ディスクに適用するために、**JIS X 0609** に幾つかの制限及び条件を付け加えている。これらの制限及び条件によって、DVD 専用プレーヤの設計を容易にする。

このブリッジフォーマットは、**JIS X 0606** と互換性のあるボリューム構造及びファイル構造をもつことによって、既存のコンピュータシステムにおいても容易に実装できる。

“DVD-Video/Audio 適合” 範囲は DVD-Video 規定及び DVD-Audio 規定の両方に関して、ブリッジフォーマットの上で定義される。DVD-Video/Audio 適合範囲は、ブリッジフォーマットを使用する際のボリューム構造及びファイル構造のパラメタ欄に幾つかの制限を規定する。これは、オペレーティングシステム (OS) からの独立性を保ち、DVD-Video ディスク及び DVD-Audio ディスクのデータ構造を単純化する。

1.2 引用規格 次の規格等は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年又は発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補は適用しない。

JIS X 0201:1997 7 ビット及び 8 ビットの情報交換用符号化文字情報集合

備考 ISO/IEC 646:1991 Information technology—ISO 7-bit coded character set for information interchange からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0606:1998 情報交換用 CD-ROM のボリューム構造及びファイル構造

備考 ISO 9660:1988 Information processing—Volume and file structure of CD-ROM for information interchange からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS X 0607:2001 非逐次記録を用いる追記形及び書換形の情報交換用媒体のボリューム及びファイルの構造